

平成 28 年度第 2 回理事会・平成 28 年度第 1 回評議員会 議決

平成 27 年度
事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から
平成 28 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 堺市勤労者福祉サービスセンター

事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

I 法人の概況

1. 設立年月日等

昭和 63 年 10 月 1 日

平成 24 年 4 月 1 日（公益財団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

この法人は、堺市内における中小企業に勤務する勤労者等に対し、総合的な福祉事業を行うことにより、勤労者の福祉の向上を図るとともに、あわせて地域の企業の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 中小企業勤労者等の福利厚生事業
- (2) 勤労者等のための施設の管理運営事業
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所轄官庁に関する事項

大阪府総務部法務課

5. 主たる事務所

主たる事務所所在地	堺市堺区田出井町 2 番 1 号 堺市立勤労者総合福祉センター内
事務局長	松田 有弘
電話番号	072-221-6700

6. 出捐者等の状況

(金額単位：千円)

出捐者	出捐金額	比率
堺市	30,000	50.01%
堺商工会議所	2,000	3.33%
その他	27,990	46.66%
合計額	59,990	100.00%

7. 役員等に関する事項

【理事】5名以上10名以内

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
理事長	堀畑 好秀	堺商工会議所 副会頭	非常勤
副理事長	鎌倉 幸信	公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 副理事長	常勤
常務理事	松田 有弘	公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 事務局長	常勤
理事	岩崎 功一	一般財団法人大阪労働協会 理事	非常勤
理事	小坂 弘行	ビーシーメディア株式会社 営業部長	非常勤
理事	砂田 千秋	株式会社CLC 代表取締役	非常勤
理事	辻井 宏育	全労済 大阪府本部 常務執行役員	非常勤
理事	宮下 鉦二	社会福祉法人野田福祉会 副理事長	非常勤
理事	宮地 達也	ニワダニネットワークシステム株式会社 流通・総務部 部長	非常勤
理事	山道 崇之	大阪労連 堺労働組合総連合 議長	非常勤

【監事】2名以内

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
監事	林 大司	林公認会計士事務所 公認会計士	非常勤
監事	松山 智治	近畿労働金庫 堺支店 支店長	非常勤

【評議員】5名以上10名以内

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
評議員	植松 高志	堺経営者協会 専務理事	非常勤
評議員	岡 悦子	社会福祉法人あおば福祉会 おおぞら保育園 施設長	非常勤
評議員	柏 哲雄	株式会社サンボウ 釣具物流課係長	非常勤
評議員	菊地 栄男	大阪府民共済生活協同組合 理事	非常勤
評議員	清水 俊雅	連合大阪 大阪南地域協議会 堺地区協議会 副議長	非常勤
評議員	勢口 俊彦	株式会社大阪教育研究所 経理課長	非常勤
評議員	野口 徹	堺市 産業振興局長	非常勤
評議員	林 義昭	堺商工会議所 専務理事	非常勤
評議員	森 俊弘	株式会社堺精機 代表取締役社長	非常勤
評議員	米澤 邦明	株式会社はり源 代表取締役	非常勤

【顧問】1名

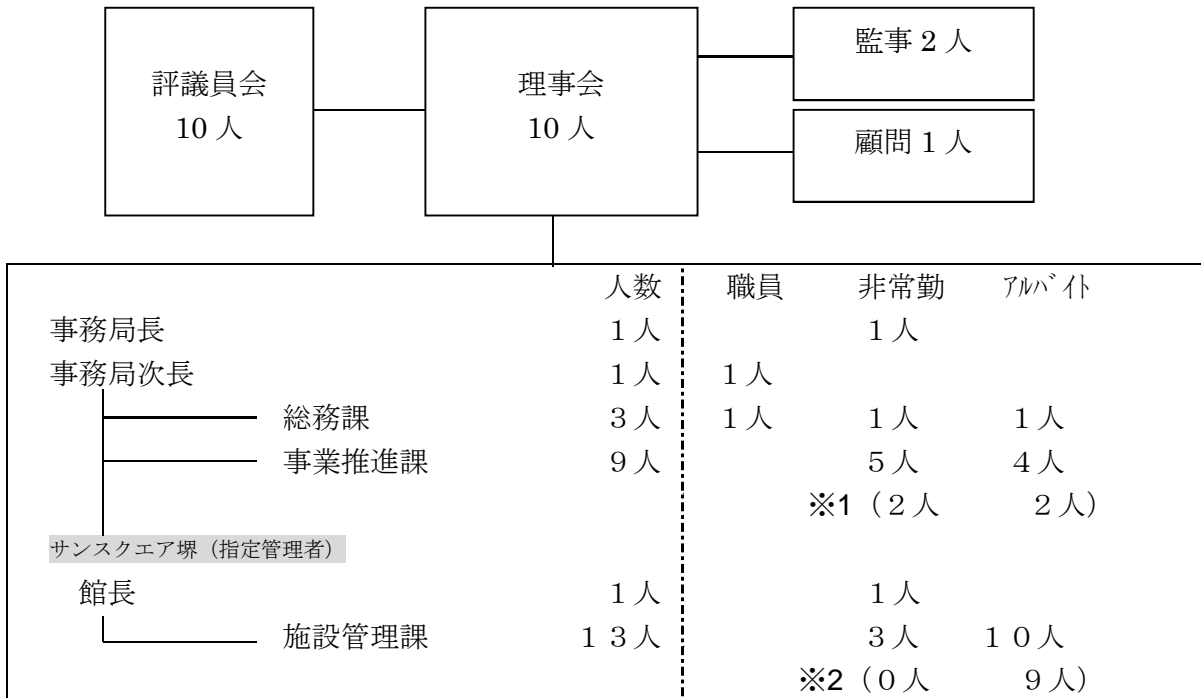
(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	所属団体及び役職名	常勤・非常勤の別
顧問	一瀬 幹雄	前 公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター 副理事長	非常勤

8. 職員に関する事項

(1) 組織図

(平成 28 年 3 月 31 日現在)



- (注) 常務理事は事務局長を兼務。
 (注) 事務局次長は事業推進課長を兼務。
 (注) 館長は施設管理課長を兼務。
 (注) ※1 括弧は会員拡大担当者数。
 (注) ※2 括弧はサンスクエア堺受付担当者数。

(2) 職員の状況

(各年度 3 月 31 日現在)

区 分	26 年度	27 年度	前年度末比増減
常 勤	2 人	2 人	—
非 常 勤	12 人	11 人	△ 1 人
アルバイト	14 人	15 人	+ 1 人
合 計	28 人	28 人	—

(注) 常勤職員数には堺市からの派遣職員 1 人を含む。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

当サービスセンターは、昭和 63 年 10 月の設立以来、これまで市内中小企業に勤務する勤労者等に総合的な福祉事業を提供することで勤労者の福祉の向上を図るとともに、地域の企業の振興及び地域社会の発展に寄与するべく各種の事業を展開してまいりました。

事業運営にあたっては、会員ニーズを的確に把握し満足度の高いサービスを提供するため、事業主及び会員を対象に大規模なアンケート調査を実施しました。また、会員数 10 名以上の事業所 185 件を訪問し事業内容の周知を行うとともに退会防止に努めました。

堺市からの補助金に依存しない財務体質の確立と恒常的な経営の改善・向上を図り、安定した事業の展開とサービスの提供を行うため、平成 27 年度においても引き続き会員数の拡大を最重点課題に位置づけた取り組みを進めることで、年度末時点における会員数を前年度に対して 254 人増の 15,503 人にまで拡大いたしました。

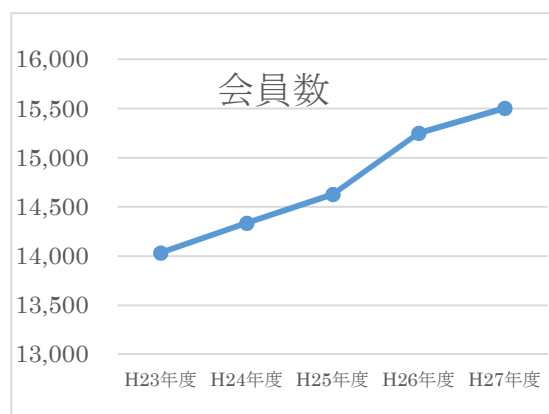
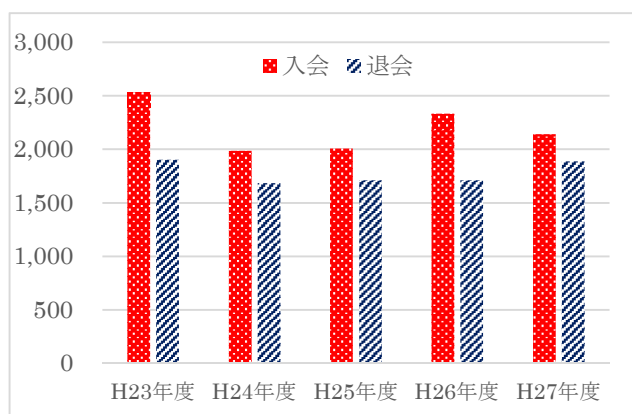
また、指定管理者として堺市立勤労者総合福祉センター（サンスクエア堺）の運営については、施設の PR や新たな事業の取り組みを実施することで利用件数、稼働率ともに前年度を上回る実績をあげることができました。

2. 会員の状況

区 分	平成 26 年度末	平成 27 年度末	前年度末比較増減
会 員 数	15,249 人	15,503 人	+254 人
事業所数	1,463 件	1,489 件	+26 件

【過去 5 年間の会員数の推移】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
入会者数	2,533 人	1,986 人	2,006 人	2,332 人	2,141 人
退会者数	1,902 人	1,684 人	1,712 人	1,711 人	1,887 人
実質増加数	631 人	302 人	294 人	621 人	254 人
年度末会員数	14,032 人	14,334 人	14,628 人	15,249 人	15,503 人
年度末事業所数	1,418 件	1,434 件	1,435 件	1,463 件	1,489 件



3. 中小企業勤労者等の福利厚生事業

公益目的事業 (公1: 堺市内勤労者の総合的な福祉の向上を目的とする事業)
 収益事業 (収1: 広告、事務手数料)
 その他事業 (他1: 祝金給付事業及び周年記念事業) ※周年事業実施なし

堺市内の中小企業に勤務する勤労者に対し、中小企業が単独では実施しがたい福利厚生事業を行うことにより、勤労者福祉の向上を図るとともに、あわせて地域の企業振興及び地域社会の発展に寄与した。

(1) 広報事業 (公1)

会員への情報提供を行うとともに、未加入事業所に対して加入促進を行った。

【情報提供】

取組	内 容	27年度	26年度
SCKガイド	事業内容及び利用方法等を記載した冊子を全会員に配布 (4月)	17,700部	17,500部
SCKニュース	イベント等の主催事業、チケットあつ旋などを中心に掲載した会報誌を全会員に配布 (10回)	年間 160,800部	年間 157,100部
ホームページ	事業内容・最新情報の掲載、事業周知	78,158アクセス	69,358アクセス

【加入促進関係】

内 容	時 期
会員拡大推進員による会員勧誘活動	通 年
未加入事業所紹介者への報奨金支給制度	通 年
未加入事業所へのダイレクトメールの送付	随 時
会員拡大月間キャンペーン	9～11月
サンスクエア講座、サンスクエア堺等でのイベント時のチラシ配布	随 時
関係機関との連携 (チラシ封入、メルマガ配信等)	随 時
「南海バス」後面ボディ広告 (5台)	通 年
「阪堺電車」 (1台) ボディ広告	通 年
「堺まつり」バリカ広告 (1個)	10月
「堺ブレイザーズ」主催試合 会場内垂れ幕	12月
「堺商工会議所報」広告掲載	通 年
地域新聞等へ広告掲載	随 時
堺市商店連合会理事及び加盟店への勧誘活動	通 年
※大阪府電気工事工業組合堺支部、青年部 HP にバナー掲載	8～3月
※「Ferie」「ぱど」に記事広告掲載	10月
※「あい情報」に広告掲載	10月

(注) ※新規又は拡充事業。

(2) 慶弔給付事業（公1・他1）

会員の慶弔給付金として、各種祝金、弔慰金、見舞金及び加入年数に応じた永年在会慰労金等を支給した。

給付の種類	内 容	給付額	27年度	26年度
結婚祝金	本人	20,000円	262件	247件
結婚記念祝金	25年	10,000円	107件	98件
	50年	10,000円	9件	14件
出産祝金	会員の子が生まれたとき	10,000円	379件	362件
入学祝金	小学校	10,000円	427件	442件
	中学校	10,000円	465件	524件
還暦祝金	本人	5,000円	156件	224件
入院見舞金	10日～29日	10,000円	112件	106件
	30日～49日	30,000円	27件	27件
	50日～	50,000円	22件	23件
障害見舞金	1～3級	90,000円	4件	9件
	4～6級	45,000円	3件	8件
死亡弔慰金	本人	70,000円	14件	30件
	配偶者	30,000円	16件	19件
	実父母	10,000円	240件	261件
	子	30,000円	4件	3件
永年在会慰労金	5年	5,000円	854件	754件
	10年	5,000円	671件	561件
	20年	10,000円	168件	242件
合 計			3,940件	3,954件

(注) ※障害見舞金（1～3級）内の1件は（4～6級）からの差額のみ給付。

(3) 生活安定事業（公1）

在職中の生活安定を図るため、「全労済」の各種共済、「全福ネット」の入院保険のあつ旋及び無料法律相談を行った。

内 容		時 期	27年度	26年度
全労済	「こくみん共済」契約件数	149件	122件	149件
	「マイカー共済」契約件数	71件	80件	71件
「全福ネット入院あんしん保険」契約件数		通 年	15件	16件
顧問弁護士による無料法律相談件数		通 年	14件	9件
合 計			231件	245件

(4) 健康管理事業 (公1)

健康の維持・増進を図るため、定期健康診断、人間ドック等の受診に対し補助を行った。また、会員制スポーツクラブへ法人加入し会員価格での施設利用券の販売を行うとともに、健康ウォーキング・健康セミナーを実施した。

内 容	開催日	27年度	26年度
定期健康診断補助【事業所対象】 人間ドック・定期健康診断補助【個人対象】	通年	7,304人 461人	6,890人 270人
健康ウォーキング	5/10・11/15	49人 (2回)	79人 (2回)
健康セミナー (主催事業)	11/17	8人	22人
スポーツクラブ法人会員 (3クラブ)	通年	11,546人	9,128人
合 計		19,368人	16,389人

(注) 健康ウォーキング (年2回) 及び健康セミナーは、毎年事業内容を変更して実施。

(5) 余暇活動事業 (公1)

余暇活動の充実を図るため、レクリエーション事業の実施、推奨旅行事業や宿泊施設等の利用補助を行った。また、会員証提示で割引利用できる提携施設を拡充した。

【主催事業】

内 容	開催日	27年度	26年度
第25回軟式野球大会	4/26・5/10	10チーム (136人)	9チーム (119人)
ビジネスマナーセミナー(初級) 【おおきに・19人】	6/2	16人	27人
※SCK・OCS 共催フットサル大会 【おおきに・55人】	6/21	3チーム (25人)	—
海釣り大会 【おおきに・148人】	6/14	44人	中止(台風)
夏休み親子料理教室	8/8	36人	30人
551HORA I 親子豚まん手作り体験&ランチ	8/29	80人	80人
第52回ボウリング大会 (個人戦)	9/4	76人	62人
※セミナー事業 (決算書と財務諸表分析の基本) 【おおきに・34人】	10/27	30人	—
第27回ソフトボール大会	10/18・11/1	15チーム (212人)	14チーム (203人)
SCK ファミリーイベント 第1弾 IN ハーベストの丘 (全 290人)	10/25 11/8	152人 138人	494人
マジック de 婚活わくわくパーティ 【おおきに・69人】	12/12	7人	17人
クリスマスケーキ教室	12/12	11人	14人
※SCK ファミリーイベント 第2弾 SILT サンドアートパフォーマンス&ムッシュピエールマジックショー	1/11	170人	—
第10回ソフトバレーボール大会 【おおきに広報】	2/21	9チーム (61人)	10チーム (74人)
4市SC共催ボウリング大会 (個人戦) 【おおきに・161人】	2/12	62人	24人

※蔵元で楽しむ施設見学と新酒試飲会 【おおきに・47人】	3/20	27人	20人
ECO・ECOフリーマーケット in サンスクエアフェスティバル ・障がい者団体を喫茶4ブースに招待	3/6	16ブース 4ブース (60人)	16ブース (45人)
合 計	18事業	1,343人	他 115人 (前年度：全21事業 1,324人)

(注) ※新規事業。

(注) 【おおきに】 おおきに Net 事業。

(注) おおきに Net 事業等の共同開催事業を増やし、事業メニューの拡充を図った。

【チケット方式事業】

内 容		開催日	27年度	26年度
ビアガーデン チケット	ハイアットリージェンシー大阪	6/27～9/27	187人	250人
	スターゲイトホテル 関西エアポート	5/15～8/31	184人	171人
	楓林閣 阿倍野店	5/22～8/31	344人	304人
	ホテル・アゴーラリージェンシー堺	5/20～9/12	349人	301人
春のグルメフェア ジェフグルメカード	5月	907人	796人	
冬のグルメフェア ジェフグルメカード	12月	1,104人	1,178人	
ほの字の里「ほのぼの湯セット」チケット 【おおきに】	7/1～8/31	107人	91人	
スイスホテル南海大阪 ランチ&アフタヌーンティーバ イキングチケット 【おおきに】	11/1～4/28	230人	58人	
新阪急ホテル「オリーブ」ランチバ イキングチケット 【おおきに】	11/1～3/31	999人	634人	
※水都大阪満喫チケット 【おおきに】	7/1～3/21	74人	—	
合 計			4,485人	3,783人

(注) ※新規事業（藤井寺SCからの紹介）。

(注) 【おおきに】 おおきに Net 事業。

【推奨旅行事業】

内 容	開催日	参加人数
<日帰りバスツアー>		
あじさいの三室戸寺 瀬田川琵琶湖クルージング	6/21	35人
郡上八幡（食べ歩き&食品サンプル製作体験）満喫ツアー	7/25	19人
秋の味覚の王様「松茸づくし」の昼食と 「松茸狩り体験&栗つかみ取り」ツアー	10/3	36人
近江商人のふるさと・五箇荘町と近江八幡	12/13	19人
鳥羽・浦村にて焼きカキ食べ放題と伊勢神宮参拝	1/24	30人
「サツキとメイの家」&「なばなの里イルミネーション」鑑賞& 「名古屋めしランチバイキング」ご賞味の旅	3/5	36人
<宿泊プラン>		
立山・雪の大谷ウォークと世界文化遺産「白川郷・合掌造り集落」の旅 【おおきに・24人】	5/9～5/10	6人
夏休み・お子さま笑顔大作戦 鷺羽山 海辺のホテルでビーチサイドバーベキューと無人島探検ツアー	7/18～8/30	42人

JR 特急サンダーバートで行く 味覚満載「かにかに特選北陸の旅」2・3日間	12/1～3/30	9人
合 計	11事業 232人 (前年度：9事業 369人)	

【利用補助事業】

内 容		開催日	27年度	26年度
TDR 特別利用券		通年	505人 (961人)	453人
味めぐり	大起水産・海鮮レストラン	9/10～10/7	101人	254人
				35人
船釣り	「三邦丸」	9/12～1/13	25人 (52人)	36人
	「幸海丸」	9/12～1/13	15人 (31人)	19人
親子海釣り教室割引利用補助券		7～11月	21人 (40人)	—
合 計			667人	797人

(注) USJ アカウントクーポンの取り扱いが平成 26 年度末で廃止されたため、平成 27 年度から USJ フリーデイトパスを施設利用補助・チケットあつ旋事業として割引販売。

(注) 味めぐりは、毎回、店舗・料理内容を変更して実施。

(注) 括弧は会員からの申込人数

【施設利用補助（宿泊補助）】

＜SCK 宿泊補助＞ *会員・家族あわせて年度内 10 泊まで

内 容	27年度	26年度
＜旅行社、全国のホテル・旅館等と提携＞		
会員・・・1泊 2,000 円補助（年度内 3 泊まで）	1,363 泊	1,330 泊
登録家族・・・1泊 1,000 円補助（年度内 1 人 3 泊まで）	1,044 泊	1,289 泊
合 計	2,407 泊	2,619 泊

＜大阪労働協会宿泊補助＞ *会員の同行が必須


内 容	27年度	26年度
＜かんぽの宿、いこいの村、休暇村、契約施設（4施設）＞		
会員・・・1泊 1,500 円補助（年度内 3 泊まで）	456 泊	487 泊
登録家族・・・1泊 1,000 円補助（年度内 1 人 3 泊まで）	334 泊	393 泊
合 計	790 泊	880 泊

【施設利用補助（その他）】

内 容	27 年度	26 年度
ゴルフ場利用補助（プレー費補助（2,000 円/回）年度内 4 回まで） ゴルフ場（14 施設）	659 人	583 人
SCK チケット（全会員に配布する施設利用補助券）		
映画館（2 館）	3,615 人	3,576 人
レジャー施設（11 施設）	9,668 人	7,708 人
スーパー銭湯・スパ（7 施設）	23,002 人	23,927 人
味覚狩り（5 施設）	568 人	566 人
プール（4 施設）	9,134 人	9,392 人
チケットあつ旋		
※U S J フリーデイトパス	1,314 人	657 人
T O H O シネマズ	1,087 人	1,076 人
スポーツ観戦（プロ野球、J リーグ、V リーグ他）	958 人	1,490 人
コンサート・観劇	1,316 人	1,611 人
レジャー・文化施設	1,463 人	1,698 人
チケットぴあ（アフター 5 クラブ）取扱チケット	183 人	100 人
合 計	52,967 人	52,384 人


(注) ※U S J アカウントクーポンの取り扱いが平成 26 年度末で廃止されたため、平成 27 年度から U S J フリーデイトパスを施設利用補助・チケットあつ旋事業として割引販売。

【提携施設の割引利用】


<p>会員証提示による割引利用</p> <p>宿泊・旅行・冠婚葬祭、レジャー施設、風呂・リラクゼーション、スクール・学校・教室、グルメ（※）、生活関連、住宅関連、オフィス関連 等</p>	
---	---

(注) ※ジョルダン(株)が運営する会員証提示による優待プログラム「ジョルダンパスポート」に加入し、割引対象施設の検索バナーをホームページに設置。

【全福ネット 割引協定施設】

<p>会員証の全福ロゴの提示や協定施設割引券の提出による（一社）全国中小企業勤労者福祉サービスセンターが契約する宿泊施設やレジャー施設等の割引・優待利用 等</p>	
--	---

【(一財) 大阪労働協会 福利厚生事業】

<ul style="list-style-type: none"> ・「おおきに Net」 大阪府下 22 の SC がスクールネットを活かしたサービスを展開するために共通ロゴを作成し、ロゴの提示で労働協会提携施設及び各 SC 提携施設の一部を共同利用 ・宿泊補助 1 泊につき会員 1,500 円、家族 1,000 円 年度内 1 人 3 泊まで ・TDR（東京ディズニーリゾート） マジックキングダムクラブへの登録及び特別利用券（500 円分×4 枚）の配布 ・百貨店（高島屋、近鉄百貨店、阪神・阪急百貨店 等） お買物優待券の発行またはお買物券の割引購入 ・コナミスポーツクラブ法人会員証の発行 	
--	---

【職場レクリエーション補助事業】

内 容	27 年度	26 年度
会員が 3 人以上参加する社内行事の実施にあたり、1 会員 1,000 円の補助を行う。(年度内 1 回まで) 対象者：先着 1,000 人	1,005 人 (51 事業所)	642 人 (39 事業所)

【その他】

内 容	27 年度	26 年度
お楽しみクイズ	100 人 (2,150 人)	100 人 (1,699 人)
エッシーくんからの贈り物	80 人	20 人
投稿コーナー	53 人(63 人)	43 人
大阪交響楽団定期演奏会招待 (4 公演)	40 人	40 人

(注) お楽しみクイズ、投稿コーナーの括弧内は応募者数。

(注) 「エッシーくんからの贈り物」はクイズ落選者から再度抽選を行い毎号 10 名にエッシーくんグッズを進呈。

平成 27 年 1 月号～平成 27 年 12 月号までの全 10 回実施。

(6) 自己啓発事業 (公 1)

会員の能力向上、スキルアップ等のために講座受講料の一部を補助し、会員の自己啓発活動を支援した。

内 容	27 年度	26 年度
会員がサンスクエア講座・指定通信講座・指定教育機関の各種講座を受講した際に補助を行う (支払額の 10%)	17 人	19 人

(7) 老後生活の安定事業 (公 1)

中小企業で働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的に国が一部助成する退職金制度「中小企業退職金共済 (中退共)」制度への加入あっ旋を行った。また、老後生活に役立つよう退職準備セミナーを実施した。

内 容	27 年度	26 年度
退職準備セミナー 【3 市共催・12 人】	9 人	11 人
中小企業退職金共済 (中退共) 制度	262 人 (38 事業所)	250 人 (38 事業所)

(8) 財産形成事業 (公 1)

会員の計画的な財産づくりを支援するために財形事務代行を行った。

内 容	27 年度	26 年度
一般財形	86 人	85 人
年金財形	20 人	17 人
住宅財形	1 人	0 人
合 計	107 人 (26 事業所)	102 人 (26 事業所)

(9) その他補助事業 (公1)

【サンスクエア堺 利用料金補助制度】

内 容	27 年度	26 年度
会員がサンスクエア堺を利用した際に補助を行う(基本料金の 20%)	47 件	33 件

【他府県等事業所会員特別補助制度】

内 容	27 年度	26 年度
他府県等に営業所等があり、そこに勤務する会員がいる場合に、その会員に対し、1 人 1,000 円相当の補助を行う	622 人 (23 事業所)	530 人 (20 事業所)

(10) 収益事業 (収1)

会員の豊かな生活を応援するため、また S C K の事業収入を拡大し安定した経営を実現するために、会員向けの商品あつ旋や発行物への広告掲載、チラシ封入等を実施した。

【購買あつ旋】

内 容	27 年度	26 年度
家庭用常備薬あつ旋 (年 3 回)	1,805 件	1,720 件
物品あつ旋 (ハム、海産物、雑誌、うめぼし、時計等)	965 件	616 件
合 計	2,770 件	他 94 件 2,430 件

(注) 平成 26 年度は会員事業所の商品あつ旋を実施。

【広告掲載等】

内 容	27 年度	26 年度
S C K ニュース広告	35 件	28 件
S C K ガイド広告	15 件	22 件
S C K ニュース発送時のチラシ等の封入	11 件	13 件
合 計	61 件	63 件

【収益事業の利益】

内 容	27 年度利益	26 年度利益
家庭用常備薬等のあつ旋販売	691,203 円	734,212 円
物品あつ旋 (ハム、海産物、雑誌、うめぼし、時計 等)	423,936 円	288,509 円
S C K ニュース広告掲載	731,000 円	596,000 円
S C K ガイド広告掲載	265,000 円	352,000 円
S C K ニュース発送時の封入	545,412 円	709,276 円
全労済事務手数料	133,109 円	153,579 円
その他 (中退共復託業務手数料 等)	11,664 円	87,002 円
合 計	2,801,324 円	2,920,578 円

4. 勤労者等のための施設の管理運営事業

公益目的事業 (公1: 堺市内勤労者の総合的な福祉の向上を目的とする事業)

収益事業 (収1: 公益目的利用団体以外への施設貸与等の事業)

勤労者の福祉の増進と教養文化の向上を図るとともに、労働組合の健全な発展に資するために設置されている堺市立勤労者総合福祉センター(サンスクエア堺)の指定管理者として、施設の管理運営業務及び各種の自主事業を行った。

(1) 施設管理運営事業(公1・収1)

勤労者を中心に労働団体、各種団体、法人等による会議や講演、研修等に加え、クラブやサークル等による音楽、教養、文化、スポーツ等の活動の場として施設の貸館業務を行った。また、利用者に安全で快適な施設を提供するとともに、施設価値の維持、向上を図るため、適切な施設の補修や維持管理を行った。

区 分	26 年度	27 年度	前年度比較増減
利用件数	6,799 件	6,947 件	148 件
区分稼働率	46.3%	47.2%	0.9%
日数稼働率	73.0%	74.7%	1.7%

稼働 335 日 (午前・午後・夜間の各区分を1件とする)

室 名	席数等	利用件数	区分稼働率	日数稼働率	入場者数
多目的ホール	624 席	663 件	67.2%	94.9%	28,665 人
	684m ²	(629 件)	(64.0%)	(95.7%)	(25,201 人)
料理実習室	37 名	176 件	18.2%	39.0%	3,168 人
	105m ²	(188 件)	(19.7%)	(38.6%)	(3,219 人)
工芸実習室	37 名	191 件	19.4%	51.1%	3,659 人
	105m ²	(203 件)	(20.9%)	(50.5%)	(3,819 人)
教養文化室	42 名	333 件	33.7%	70.3%	3,196 人
	109m ²	(349 件)	(35.5%)	(68.1%)	(3,290 人)
研修室 1	36 名	815 件	82.8%	86.9%	5,733 人
	88m ²	(587 件)	(59.9%)	(69.1%)	(3,951 人)
研修室 2	42 名	438 件	44.2%	76.3%	9,981 人
	88m ²	(496 件)	(50.4%)	(82.5%)	(10,813 人)
第 1 会議室	108 名	446 件	45.0%	73.9%	22,593 人
	174m ²	(428 件)	(43.5%)	(72.9%)	(22,414 人)
第 2 会議室	30 名	356 件	36.0%	65.7%	6,350 人
	111m ²	(418 件)	(42.9%)	(74.1%)	(6,345 人)
第 3 会議室	27 名	549 件	55.5%	88.8%	7,822 人
	56m ²	(585 件)	(59.3%)	(89.0%)	(8,168 人)
第 4 会議室	24 名	606 件	61.2%	92.8%	8,200 人
	51m ²	(701 件)	(71.0%)	(95.2%)	(8,952 人)

室名	席数等	利用件数	区分稼働率	日数稼働率	入場者数
ミーティングルーム 1	10名 22m ²	399件 (356件)	40.4% (36.2%)	66.1% (64.4%)	1,268人 (1,337人)
ミーティングルーム 2	12名 20m ²	504件 (402件)	51.0% (40.9%)	83.6% (72.4%)	3,792人 (2,961人)
ミーティングルーム 3	18名 48m ²	557件 (588件)	56.3% (59.5%)	84.2% (85.9%)	5,491人 (6,442人)
サンスクエアホール	400席 438m ²	444件 (428件)	47.4% (44.4%)	65.6% (61.5%)	51,018人 (51,071人)
第5会議室 (ギャラリー)	54名 114m ²	470件 (441件)	48.7% (44.8%)	79.3% (74.0%)	12,689人 (12,405人)
合計		6,947件 (6,799件)	47.2% (46.3%)	74.7% (73.0%)	173,625人 (170,388人)

括弧は前年度実績

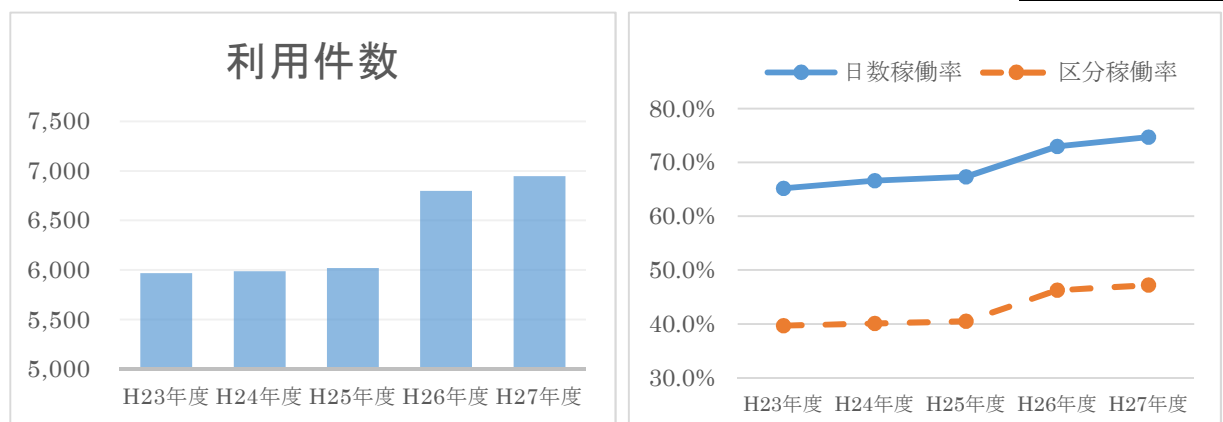
【利用団体別利用件数】

区分	勤労者	労働団体	SCK・ 堺市(雇用推進課)	一般	合計
利用件数	1,095件	974件	1,513件	3,365件	6,947件
利用割合	15.8%	14.0%	21.8%	48.4%	100%

(附属施設扱いの部屋を除く)

【過去5年間のサンスクエア堺利用者数の推移】

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用件数	5,969件	5,986件	6,019件	6,799件	6,947件
利用人数	159,418人	159,164人	158,310人	170,388人	173,625人
区分稼働率	39.7%	40.1%	40.5%	46.3%	47.2%
日数稼働率	65.2%	66.6%	67.3%	73.0%	74.7%



(2) サンスクエア講座 (公1)

勤労者等の教養文化活動を促進するため、花道、茶道、パソコン等の講座を実施した。

	講座名	定員		前期	後期	その他	27年度	26年度
				(5~9月)	(10~2月)	(1~3月)		
自主 事業 講座	料理	前期・後期各 30 人		12 人	17 人		29 人	50 人
	花道	前期・後期各 18 人		7 人	10 人		17 人	12 人
	茶道	前期・後期各 20 人		4 人	7 人		11 人	12 人
	太極拳	前期・後期各 35 人		22 人	26 人		48 人	39 人
	陶芸	前期・後期各 20 人		13 人	19 人		32 人	22 人
	ヨガ	前期・後期各 100 人		99 人	102 人		201 人	211 人
	パーソナルカラー	前期・後期各 20 人		9 人	7 人		16 人	7 人
	笑気功	前期・後期各 35 人		10 人	10 人		20 人	15 人
	バドミントン	前期・後期各 24 人		23 人	30 人		53 人	57 人
	園芸	前期・後期各 20 人		6 人	5 人		11 人	16 人
	太極柔力球でエクササイズ	前期・後期各 20 人		8 人	7 人		15 人	11 人
	男の料理講座	14 人				15 人	15 人	13 人
	ソープカービング	8 人				6 人	6 人	36 人
	脳トレとヨガで健康講座	20 人				8 人	8 人	4 人
※イタリア料理	30 人				33 人	33 人		
※ハステルワーク&ガラス絵	20 人				11 人	11 人		
指定 管理 事業 講座	英会話	前期・後期各 36 人		39 人	49 人		88 人	70 人
	パソコン	前期 80 人・後期 60 人		33 人	30 人		63 人	60 人
	経理労務の実務講座	前期 30 人		7 人			7 人	11 人
	かんたん入門英会話	18 人				13 人	13 人	23 人
	お仕事マナー・コミュニケーション	20 人				3 人	3 人	5 人
	春のカラーメイク・ファッションセミナー	15 人				14 人	14 人	13 人
	パソコン(上級)	20 人				11 人	11 人	7 人
	※パソコン(HP作成)	10 人				11 人	11 人	
	※パソコン(1日でレイト)	10 人				5 人	5 人	
※ライフプランセミナー	30 人				18 人	18 人		
合計	前期 488 人 後期 438 人 その他 215 人	計 1,141 人	292 人	319 人	148 人	759 人	694 人 (他 8 人) 計 702 人	

※ 27 年度新規講座。その他（前期・後期の定例講座以外）での開講。

* 26 年度、パーソナルカラーは前期のみ開講。

太極柔力球でエクササイズはその他（前期・後期の定例講座以外）での開講。

(3) カラダとココロの健康づくり【サンスクエアフェスティバル同時開催】(公1)
 体力づくりや疾病予防、メンタルヘルスなどの観点から日常生活や職場における健康づくりの大切さを再認識するための楽しく役に立つセミナーも同時開催した。(40人)

(4) 災害への備え展【サンスクエアフェスティバル同時開催】(公1)
 災害から命と暮らしを守るために必要な知識や備えを再確認するとともに地震発生時の避難所としての機能や役割を広く地域のみなさんと共有するため、サンスクエアフェスティバル開催にあわせ「災害への備え展」を開催し当館保有の備蓄水を提供した。
 堺市上下水道局の協力をいただき、東日本大震災時の支援活動の際の現地の様子や水の大切さについて講演していただいた。(432人)

(5) サンスクエア堺 お年玉コンサート2016(公1)
 勤労者及び市民に音楽ホールとしての「サンスクエアホール」の周知と今後の更なる利用促進のため年初めに優良なコンサートを開催した。今回で8回目とシリーズ化することで、市民に愛されるホールづくりの一環になっている。

内 容	出 演 者	開催日時 場 所	入場者 数
音楽の都ウィーンが育んだ作曲家たちの名曲を あなたに ～音夢登とマッキーのノスタルジックウィーン～ 第1部 ・ウィーンはいつもウィーン ・楽興の時 第3番 ・歌曲「ます」 ・ピアノ五重奏「ます」第4楽章 ・歌曲「楽に寄す」 ・ハンガリアン舞曲 第5番 第2部 ・「シンバルの響きを聴くと」 ・岩の上の羊飼い ・ワルツ「南国のバラ」 ・歌曲「私は喜びに満ちて緑の道を歩いた」 ・アダージェット ・歌劇「ばらの騎士」より最終シーン	指揮・レダクター：牧村 邦彦 第1ヴァイオリン：木村 直子 第2ヴァイオリン：宮下 和子 チェロ：木村 政雄 ヴィオラ：法橋 泰子 コントラバス：三井 脩平 ピアノ：矢崎 真理 クラリネット：吉田 佐和子 ソプラノ：小椋 史絵 ソプラノ：松尾 知佳 メゾ・ソプラノ：森 季子	1/9 (土) 14:00 開演 サンスクエア ホール	317人

*平成26年度は、木管五重奏の世界～笛は歌う～笛は踊る～。

*平成26年度の入場者数は302人。

(6) サンスクエア フェスティバル (利用者発表会) (公1)

サンスクエア堺で活動をしているグループ・団体活動の推進及び利用者間のコミュニケーションを高めるため、舞台発表や作品展示、お茶席、フリーマーケットなどを催すとともに、活動の成果を入場者等に披露する発表会を昨年引き続き開催した。

また、フェスティバルのオープニングアクトとして堺市立三国丘中学校の吹奏楽部の演奏と堺出身のクラリネット奏者：稲本 渡さんのミニコンサートも行った。

参加は、陶芸講座、パステルワーク&ガラス絵講座を含むサンスクエア利用者 22 団体と SCK 会員のフリーマーケット出店者 16 団体と招待参加 4 団体の全 42 団体となった。

内 容	開催日	入場者数	26 年度
展示発表	3/5(土)~3/6(日)	1,298 人	1,296 人
舞台発表・お茶席・フリーマーケット	3/6(日)		

(7) 若年勤労者活動支援事業 (公1)

市内に在住、在勤する若年勤労者 (35 歳未満) で構成するグループ、団体等の自己啓発、余暇活動を支援するため、あらかじめ登録していただいた団体に対して 1 年度につき 3 区分を限度として 5 割の施設利用料金 (軽減額に上限あり) で施設を利用いただくもので平成 28 年 1 月より事業を実施した。

【実績】 ・登録団体： 1 団体
・利用件数： 3 件

(8) ひとり親世帯支援事業 (公1)

仕事と育児に頑張っているひとり親世帯の方々に親子共通の楽しい思い出づくりになる催しを堺市母子寡婦福祉会の協力のもと開催した。今年度は平成 28 年 3 月 13 日に「親子でアート～パステルであそぼう～」と題して実施した。

【参加者】 6 名

(9) 地域青少年育成支援事業 (公1)

施設の機能を活用して、地域における青少年の育成支援をつうじて地域社会への貢献と稼働率の向上及び施設の活性化を図るため、地域の小・中・高等学校の音楽、演劇などのクラブ活動などを対象にサンスクエアホールの舞台を児童、生徒の練習活動等の場として無償で提供した。

【実績】 ・登録団体： 27 年度 2 校 2 団体 (26 年度 4 校 5 団体)
・利用件数： 5 件 (26 年度 7 件)

(10) 地域児童育成支援事業 (公1)

施設の機能を活用して、地域における乳幼児の育成支援をつうじて地域社会への貢献と稼働率の向上及び施設の活性化を図るため、園庭での活動が制約される梅雨の時期や猛暑が続く夏季などに、多目的ホールを隣接する保育所園児の活動の場として無償で提供するもの。

【実績】 ・登録団体： 27 年度 0 件 (26 年度 2 園 2 団体)
・利用件数： 0 件 (26 年度 1 件)

5. 役員会等に関する事項

【理事会】

開催日	議案等
平成27年度 第1回理事会（決議省略） （平成27年4月1日）	【議案審議】 第1号議案 事務局長の選任の件
平成27年度 第2回理事会（通常理事会） （平成27年6月8日）	【議案審議】 第2号議案 評議員会へ提出する新理事候補者の件 第3号議案 平成26年度事業報告の件 第4号議案 平成26年度決算報告の件 第5号議案 定時評議員会の開催の件
平成27年度 第3回理事会（決議省略） （平成27年6月23日）	【議案審議】 第6号議案 常務理事（業務執行理事）の選定の件
平成27年度 第4回理事会（臨時理事会） （平成27年11月10日）	【議案審議】 第7号議案 諸規定の制定の件 【報告事項】 (1) 職務の執行状況について (2) 平成27年度第1回評議員会の決議事項について
平成27年度 第5回理事会（通常理事会） （平成28年3月18日）	【議案審議】 第8号議案 平成27年度収支補正予算の件 第9号議案 平成28年度事業計画の件 第10号議案 平成28年度収支予算の件 第11号議案 臨時評議員会の開催の件

【評議員会】

開催日	議案等
平成27年度 第1回評議員会（定時評議員会） （平成27年6月23日）	【議案審議】 第1号議案 新理事の選任の件 第2号議案 平成26年度事業報告の件 第3号議案 平成26年度決算報告の件 【報告事項】 (1) 平成27年度第1回理事会の決議事項について (2) 平成27年度第2回理事会の決議事項について
平成27年度 第2回評議員会（臨時評議員会） （平成28年3月28日）	【議案審議】 第4号議案 平成27年度収支補正予算の件 第5号議案 平成28年度事業計画の件 第6号議案 平成28年度収支予算の件 【議案審議】 (1) 平成27年度第3回理事会の決議内容について (2) 平成27年度第4回理事会の決議内容について (3) 平成27年度第5回理事会の決議内容等について

6. 経営指標等の推移

(金額単位:千円 以下は四捨五入)

事業年度		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
① 主な財務指標	貸借対照表	資産合計	269,803	279,483	276,669	280,787	300,147
		負債合計	125,083	115,818	104,140	113,892	123,288
		(うち借入金)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		正味財産合計	144,720	163,665	172,529	166,895	176,859
		正味財産増減計算書	当期正味財産増減額	△ 76,036	18,945	8,864	△ 5,633
		当期正味財産増減額－項目A(※1)	△ 76,036	18,945	8,864	△ 5,633	9,965
	収支計算書	当期収入合計	392,973	507,505	407,912	408,059	410,763
		総収入(※2)	392,973	507,505	407,912	408,059	410,763
		当期支出合計	390,787	494,619	402,017	418,227	405,219
		当期収支差額	2,186	12,886	5,895	△ 10,168	5,544
次期繰越収支差額		12,976	26,092	31,987	21,819	27,362	
② 役員等 の状況	会員数(人)	14,032	14,334	14,628	15,249	15,503	
	役員数(人)(※3)	13	12	12	12	12	
	役員報酬総額(※4)	8,511	8,511	8,106	8,342	7,959	
	職員数(人)(※5)	14	15	14	14	13	
	人件費総額(※6)	88,736	93,732	90,298	88,284	87,633	
③ 堺市との取引	市補助金収入	56,997	66,031	64,036	59,961	58,272	
	市受託事業収入	79,220	77,220	77,000	68,400	68,400	
	合計	136,217	143,251	141,036	128,361	126,672	
④ 事業別の状況	広報事業	事業支出額	20,196	20,429	21,245	21,906	18,592
		慶弔給付	給付件数(件)	3,965	3,589	3,942	3,954
	健康管理事業	事業支出額	49,117	36,174	37,321	39,099	36,268
		参加・利用延人数(人)	12,976	13,512	12,739	16,389	19,368
	余暇活動事業他	事業収入額	1,589	1,278	1,290	1,458	1,390
		事業支出額	11,769	10,539	10,774	14,997	15,950
	収益事業	参加・利用延人数(人)	62,765	66,435	66,070	63,189	64,567
		事業収入額	19,216	26,785	26,095	31,871	38,366
	その他事業	事業支出額	46,804	46,774	53,296	56,422	61,594
		事業収入額		6,210	4,718	5,313	6,680
	福利厚生事業	事業支出額		2,028	1,283	2,393	3,973
		収入額	181,908	189,398	189,180	188,589	190,519
	施設管理運営事業	支出額	103,467	93,321	96,346	93,388	91,089
		収入合計	202,713	223,671	221,283	227,231	236,955
	財産形成事業	支出合計	211,157	209,265	220,265	228,205	227,466
		事業活動収支差額	△ 8,444	14,406	1,018	△ 974	9,489
	施設管理運営事業	貸館使用件数(件)	5,969	5,986	6,019	6,799	6,947
		講座参加者数(人)	673	710	657	702	759
		コンサート入場者数(人)	370	328	362	302	317
		フェスティバル入場者数(人)	900	1,189	1,236	1,296	1,298
		収入合計	125,744	123,659	119,456	122,710	123,380
		支出合計	121,287	121,226	114,754	128,909	120,736
	財産形成事業	事業活動収支差額	4,457	2,433	4,702	△ 6,199	2,644
財形契約者数(人)		103	101	101	102	107	
収入合計		31,465	30,506	30,262	28,296	30,828	
支出合計		31,465	30,506	30,262	28,296	30,828	
	事業活動収支差額	0	0	0	0	0	

(※1)項目A=(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

(※2)当期収入合計額－借入金収入等(損益に無関係の項目)

(※3)理事、監事

(※4)役員に支払われる報酬の総額

(※5)役員、短期臨時職員及び人材派遣を除く常勤、非常勤、応職職員等

(※6)役員報酬総額を除く人件費の総額

Ⅲ 法人の課題と展望

わが国経済は、原油価格の下落や為替環境の改善効果もあって、一部企業における高水準の収益を背景に新たな雇用の創出と需要の拡大が見込まれています。

こうした状況の下で、地域経済を支える中小企業の支援を担う当サービスセンターの役割も勤労者の働きがいの実現のため一層重要となってきています。

< 中小企業勤労者等の福利厚生事業 >

平成 27 年度については、健康管理事業の充実につなげるため、個人対象の人間ドック、定期健康診断受診補助を大幅に見直しました。

平成 28 年度においては、平成 27 年度に実施したアンケートをふまえて新たな福利厚生事業の企画・検討などさらなる会員サービスの向上に取り組んでまいります。

また、将来の自立化に向けて一層の会員拡大が求められていることから、引き続き未加入事業所訪問及び会員事業所訪問による会員拡大と退会防止に取り組めます。

< 勤労者等のための施設の管理運営事業 >

平成 27 年度の稼働率については、区分稼働率は前年度比 0.9 ポイント増の 47.2%、日数稼働率は前年度比 1.7 ポイントの増の 74.7%となりました。

経営面ではコスト管理の観点から、スタッフの削減や空調設定温度の調整、館内照明の節電、ガス供給契約の見直しなどに取り組むことで人件費や光熱費の支出を削減しました。一方前年度を上回る稼働率、利用者数を確保したことで利用料金収入も微増し、最終的に損益を改善することができ単年度収支は黒字化を実現しました。

また、平成 27 年度については一部マスコミに取り上げられた堺出身の音楽家が主催する管楽器コンクールへの会場や賞の提供、市民を対象とする各種講座やイベント、無料セミナー等の開催、広報さかいや SCK 会報誌、ホームページなどをつうじた PR を行ないました。

今後も利用者の増加につなげるため、サンスクエア講座をはじめとする事業や効果的な広報活動を実施するとともに健全な経営収支になるよう施設運営に努めてまいります。また、利用者に気持ちよく利用いただけるよう施設・設備の維持・修繕については市と連携し計画的に進めてまいります。

< 法人運営 >

自立化に向けた取り組みを継続的にすすめることで安定した経営の実現を図ります。さらに、公益認定基準に適合した健全な運営に努めます。

Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。

事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

